

FRANCE

M. de Maricourt

GREAT BRITAIN-

Commander L. E. H. Maund

Squadron Leader E. J. Hodson

Captain L. F. Burgess

Mr. F. R. Hoyer Millar

ITALY-

Count Delfino Rogeri di Villanova

JAPAN-

Mr. Sotomatsu Kato

Chief Clerk.

Captain F. W. Rawlins

Interpreters.

Mons. G. J. Mathieu

Mr. S. T. Cross

昭和六年五月

千九百三十年「ロンドン」海軍會議關係文書集

外務省歐米局第二課

- 一、本調書ニハ主トシテ昭和四年六月中旬（英米豫備交渉ノ開始）ヨリ昭和五年末迄ノ文書ヲ蒐録セリ
- 一、帝國政府側並全權ノ公表及聲明等ハ事ノ輕重ヲ問ハス成ルヘク多ク採録スルコトトセリ
- 一、條約ノ批准ニ關スル文書及條約起草關係文書ハ採録セス
- 一、會議當時會議書記局ヨリ配布アリタル文書及英國政府發表ノ青書（Documents of the London Naval Conference, 1930.）
中ニ掲ケラレタル文書ハ特ニ必要ト認メタルモノノ外ハ採録セス

千九百二十年「ロンドン」海軍會議關係文書集

目次

| | | |
|------|--|----|
| 第一部 | 倫敦海軍會議ニ關スル帝國側公表及聲明 | 一 |
| (一) | 外務省公表並政府當局聲明 | 一 |
| (1) | 昭和四年八月五日地方長官會議ニ於ケル幣原外務大臣演說 | 一 |
| (2) | 昭和四年八月五日地方長官會議ニ於ケル財部海軍大臣演說要旨 | 二 |
| (3) | 昭和四年十月七日附倫敦海軍會議ニ關シ英國政府ノ寄セタル招請狀(英文及假譯文) | 三 |
| (4) | 昭和四年十月十六日附倫敦海軍會議ニ關スル帝國政府ノ對英回答狀(英文及邦文) | 七 |
| (5) | 倫敦海軍會議ニ關スル對英帝國回答ニ關スル幣原外務大臣ノ談話(昭和四年十月十八日公表) | 一〇 |
| (6) | 倫敦海軍會議ニ關スル若槻全權委員ノ談話(昭和四年十一月三十日公表) | 一一 |
| (7) | 昭和五年一月二十一日第五十七回帝國議會ニ於ケル濱口總理大臣ノ演說 | 一二 |
| (8) | 昭和五年一月二十一日第五十七回帝國議會ニ於ケル幣原外務大臣ノ演說(邦文及英譯文) | 一四 |
| (9) | 昭和五年一月二十一日倫敦海軍會議開會式ニ於ケル若槻帝國全權ノ演說(邦文及英譯文) | 一九 |
| (10) | 昭和五年二月十三日倫敦海軍會議ニ於ケル帝國全權ノ態度ニ關スル聲明書(邦文及英譯文) | 二二 |
| (11) | 昭和五年四月二十二日倫敦海軍條約調印ノ際ニ於ケル若槻帝國全權ノ聲明(邦文及英譯文) | 二六 |
| (12) | 「倫敦條約成立ニ際シテ」昭和五年四月二十二日濱口總理大臣談 | 三〇 |
| (13) | 「倫敦條約調印ニ際シテ」昭和五年四月二十二日幣原外務大臣談(邦文及英譯文) | 三一 |

11

(二)

| | |
|------|--|
| (14) | 昭和五年四月二十五日第五十八回帝國議會ニ於ケル濱口總理大臣ノ演說……………三四 |
| (15) | 昭和五年四月二十五日第五十八回帝國議會ニ於ケル幣原外務大臣ノ演說(邦文及英譯文)……………三五 |
| (16) | 昭和五年五月二十日地方長官會議ニ於ケル濱口總理大臣ノ訓示……………四〇 |
| (17) | 昭和五年五月二十日地方長官會議ニ於ケル財部海軍大臣ノ訓示……………四一 |
| (18) | 昭和五年十月二日倫敦海軍條約御批准ニ際シテノ濱口總理大臣ノ聲明……………四二 |
| (19) | 「倫敦海軍條約御批准ニ際シテ」昭和五年十月二日幣原外務大臣談(邦文及英譯文)……………四三 |
| (20) | 濱口總理大臣ノ倫敦海軍條約祝賀放送演說(昭和五年十月二十七日夜)(邦文及英譯文)……………四五 |
| (21) | 昭和六年一月二十二日第五十九回帝國議會ニ於ケル幣原總理大臣代理ノ演說……………四九 |
| (22) | 昭和六年一月二十二日第五十九回帝國議會ニ於ケル幣原外務大臣ノ演說(邦文及英譯文)……………五〇 |
| | 全權ノ公表並聲明……………五二 |
| (23) | 昭和四年十一月三十日日本邦出發ニ際シ新聞ニ發表ノ若槻全權聲明……………五二 |
| (24) | 昭和四年十一月三十日若槻全權ノ放送聲明……………五二 |
| (25) | 「シアトル」入港ノ際ニ於ケル若槻全權聲明(昭和四年十二月十二日夕刊發表)……………五三 |
| (26) | 昭和四年十二月十二日「シアトル」日本協會及商業會議所主催午餐會ニ於ケル財部全權演說(邦文及英譯文)……………五四 |
| (27) | 昭和四年十二月十二日「シアトル」日本協會及商業會議所主催午餐會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………五八 |
| (28) | 昭和四年十二月十六日華盛頓ニ於ケル若槻全權聲明(英文及邦文)……………六四 |
| (29) | 昭和四年十二月十七日華盛頓ニ於ケル日米全權ノ共同聲明(英文及邦譯文)……………六七 |

第二部

| | |
|------|---|
| (30) | 昭和四年十二月十九日華盛頓ニ於ケル日米全權共同聲明(英文及邦譯文)……………六八 |
| (31) | 昭和四年十二月二十日在紐育澤田總領事ノ午餐會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………六九 |
| (32) | 昭和四年十二月二十七日「サウザンプトン」上陸ノ際ノ若槻全權聲明(英文)……………七二 |
| (33) | 昭和五年一月十日津島財務官ノ午餐會ニ於ケル若槻全權演說(英文)……………七三 |
| (34) | 昭和五年一月二十一日第一回總會ニ於ケル若槻全權演說……………七五 |
| (35) | 昭和五年一月二十三日第二回總會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………七五 |
| (36) | 昭和五年一月二十七日若槻全權對米放送演說(英文)……………七七 |
| (37) | 昭和五年一月三十日新聞協會主催午餐會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………七七 |
| (38) | 昭和五年一月三十一日第一委員會ニ於ケル若槻全權聲明(邦文及英譯文)……………七九 |
| (39) | 昭和五年二月九日若槻全權對日放送演說(邦文及英譯文)……………八六 |
| (40) | 昭和五年二月十一日第四回總會ニ於ケル財部全權演說(邦文及英譯文)……………八九 |
| (41) | 昭和五年二月十三日倫敦海軍會議ニ於ケル帝國全權ノ態度ニ關スル聲明書……………九二 |
| (42) | 昭和五年二月二十五日日本協會晚餐會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………九二 |
| (43) | 昭和五年四月二日公表帝國全權部聲明(英文及邦文)……………九七 |
| (44) | 昭和五年四月二十二日第六回總會ニ於ケル若槻全權演說(邦文及英譯文)……………九九 |
| (45) | 昭和五年六月十七日若槻全權歸朝放送演說……………一〇三 |
| (46) | 昭和五年九月十五日國際聯盟第十一回總會ニ於ケル松平全權ノ演說……………一〇五 |
| | 各國政府及全權ノ公表文、聲明並覺書……………一〇七 |
| (1) | 昭和四年六月十六日「フオレンス」ニ於ケル「ドーズ」「マクドナルド」會談ニ關スル聲明(英文)……………一〇七 |

三

| | | |
|------|---|-----|
| (2) | 昭和四年七月二十四日英國下院ニ於ケル「マクドナルド」ノ建艦延期聲明(英文)..... | 一〇八 |
| (3) | 昭和四年七月二十四日「フーヴァー」ノ建艦延期聲明(英文)..... | 一一一 |
| (4) | 昭和四年十月七日附英國政府ノ倫敦會議招請狀..... | 一一二 |
| (5) | 昭和四年十月九日發表ノ英米共同聲明(英文)..... | 一一二 |
| (6) | 會議招請ニ對スル昭和四年十月十日附米國政府ノ回答(英文)..... | 一一五 |
| (7) | 會議招請ニ對スル昭和四年十月十四日附伊國政府ノ回答(伊文及邦譯文)..... | 一一六 |
| (8) | 會議招請ニ對スル昭和四年十月十六日附帝國政府ノ回答..... | 一一九 |
| (9) | 會議招請ニ對スル昭和四年十月十六日附帝國政府ノ回答(佛文及邦譯文)..... | 一一九 |
| (10) | 昭和四年十二月二十日附佛國政府覺書(佛文及邦譯文)..... | 一二二 |
| (11) | 昭和五年一月十日附英國政府覺書(英文及邦譯文)..... | 一二四 |
| (12) | 倫敦會議ニ於ケル地中海問題討議ニ關スル昭和五年一月十五日附在西班牙公使館覺書(佛文及邦譯文)..... | 一二四 |
| (13) | 昭和五年二月六日米國全權聲明書(英文及邦譯文)..... | 一四三 |
| (14) | 昭和五年二月七日「マクドナルド」ヨリ送付越セル英國政府覺書(英文)..... | 一四七 |
| (15) | 昭和五年二月十日英國議會ニ提出セラレタル英國政府覺書(英文及邦譯文)..... | 一五二 |
| (16) | 昭和五年二月十三日附帝國全權聲明書..... | 一六一 |
| (17) | 昭和五年二月十三日附佛國全權聲明書原案(佛文及邦譯文)..... | 一六一 |
| (18) | 昭和五年二月十三日附佛國全權聲明書(佛文及邦譯文)..... | 一七一 |
| (19) | 昭和五年二月十九日伊國全權聲明書及說明書(英文及邦譯文)..... | 一八一 |

第三部 非公式交渉關係文書

| | | |
|------|---|-----|
| (20) | 昭和五年三月五日米國全權聲明(英文)..... | 一九四 |
| (21) | 昭和五年三月十三日佛國全權聲明(英文及佛文)..... | 一九五 |
| (22) | 昭和五年三月二十六日「協議協定」ニ關スル米國全權聲明(英文)..... | 一九八 |
| (23) | 昭和五年四月二日帝國全權聲明..... | 一九九 |
| (24) | 昭和五年四月二日、日英米三國全權ノ態度ニ關スル「リード」ノ聲明(英文)..... | 一九九 |
| (25) | 各國全權聲明書ヲ會議記錄中ニ編入方ニ關スル往復文書(英文)..... | 二〇〇 |
| (26) | 倫敦海軍會議ノ成果ニ關スル昭和五年四月十五日附英國政府白書..... | 二〇三 |
| (1) | 昭和四年十一月十二日出淵大使ニ手交セル比率問題ニ關スル米國國務長官覺書(英文及邦譯文)..... | 二〇九 |
| (2) | 昭和四年十二月十七日、日米全權第一回會談議事録(英文)..... | 二一七 |
| (3) | 昭和四年十二月十九日、日米全權第二回會談議事録(英文)..... | 二二六 |
| (4) | 昭和四年十二月十七日及十九日、日米全權會談ニ關スル覺書(英文)..... | 二三三 |
| (5) | 「マクドナルド」ト帝國全權トノ第一回會見日取(昭和五年一月九日)通知ノ「クレーヤー」書翰(英文)..... | 二四〇 |
| (6) | 昭和五年一月九日、日英全權會見ノ際我全權ヨリ「マクドナルド」ニ手交セル巡洋艦比率ニ關スル覺書(英文)..... | 二四二 |
| (7) | 昭和五年二月五日「リード」ヨリ若槻全權ニ手交セル米國全權部試案(英文及邦譯文)..... | 二四五 |
| (8) | 米國全權部試案ニ關スル誤報打消ノ昭和五年二月五日米國全權部發電信寫(英文)..... | 二五九 |
| (9) | 昭和五年二月十二日松平全權ヨリ「リード」ニ手交セル帝國試案(英文及邦文)..... | 二六〇 |

| | | |
|------|---|-----|
| (10) | 帝國試案ノ訂正ニ關スル昭和五年二月十三日附「リード」宛松平全權書翰(同上返翰)及「クレイギ」宛齋藤部長書翰…………… | 二六六 |
| (11) | 昭和五年四月二日、日英米全權會合ノ席上帝國全權ヨリ三國妥協案ノ内容ト了解セル所ヲ確認セシムル爲提示セル文書(英文)…………… | 二六八 |
| (12) | 昭和五年四月二日、日英米全權會合ノ席上英米全權ニ通報セル帝國政府回訓英譯文…………… | 二七〇 |
| (13) | 昭和五年四月二日、日英米全權會合ノ際三國妥協ノ内容確認ノ爲「リード」ノ持參セル文書(英文)…………… | 二七二 |
| (14) | 昭和五年四月七日「リード」カ齋藤部長ニ手交セル次回會議及倫敦條約カ次回會議ニ於ケル締約國ノ立場ヲ拘束セサルコトニ關スル條文案(英文)…………… | 二七五 |
| (15) | 帝國輕巡洋艦及驅逐艦ノ代換ニ關スル確認(昭和五年四月十日)ノ書付(英文及邦文)…………… | 二七六 |
| (16) | 古鷹級亡失ノ場合ノ代換ニ關スル昭和五年四月八日、日英米全權會議議事錄草案(英文)…………… | 二七八 |
| (17) | 古鷹級亡失ノ場合ノ代換ニ關スル昭和五年四月八日、日英米全權會議議事錄草案ニ對スル我方訂正案(英文)…………… | 二八二 |
| (18) | 古鷹級亡失ノ場合ノ代換ニ關スル昭和五年四月八日、日英米全權會議議事錄(同月十七日附事務總長書翰及同月二十一日附若槻全權書翰)(英文)…………… | 二八六 |
| (19) | 「オブション」問題ニ關スル昭和五年四月十五日、日米全權會談議事錄(英文)…………… | 二九三 |
| (20) | 保障條項問題ニ關スル昭和五年四月十六日、日英米全權會談議事錄(四月十六日附事務總長書翰及同十七日附齋藤部長書翰)(英文)…………… | 二九五 |
| (21) | 保障條項問題ニ關シ最終總會ノ席上英國首相ノ爲スヘキ聲明草案(英文)…………… | 三〇八 |
| | 議題及議事進行方法ニ關スル文書…………… | 三〇九 |

第四部

| | | |
|------|--|-----|
| (21) | 保障條項問題ニ關シ最終總會ノ席上英國首相ノ爲スヘキ聲明草案(英文)…………… | 三〇八 |
| | 議題及議事進行方法ニ關スル文書…………… | 三〇九 |

| | | |
|------|---|-----|
| (1) | 會議開會日其他ニ關スル昭和四年十一月十一日附在京英國大使來翰及帝國政府返翰…………… | 三〇九 |
| (2) | 會議ノ目的及議題ニ關スル昭和四年十二月十日附英國政府覺書(英文)…………… | 三一〇 |
| (3) | 會議ノ目的及議題ニ關スル英國政府覺書ニ對スル昭和四年十二月二十一日帝國政府回答覺書(英文)…………… | 三一三 |
| (4) | 昭和五年一月二十日開催ノ五國首席全權打合會ノ議題通知書(英文)…………… | 三二五 |
| (5) | 昭和五年一月二十日開催ノ五國首席全權打合會議事錄(英文)…………… | 三二六 |
| (6) | 昭和五年一月二十四日事務總長ヨリ送付越ノ五國首席全權會議議題表(英文)…………… | 三二九 |
| (7) | 事務總長ヨリ送付ノ議題表ニ對スル昭和五年一月二十四日附我方修正議題案(英文)…………… | 三三二 |
| (8) | 昭和五年一月二十五日事務總長ヨリ送付越ノ修正議題表(英文)…………… | 三三六 |
| (9) | 事務總長作製ノ修正議題表一部ノ再修正(英文)…………… | 三三九 |
| (10) | 會議一週間休會ニ關スル昭和五年二月十九日附公表文(英文)…………… | 三三一 |
| (11) | 昭和五年二月二十七日事務總長ヨリ送付越セル專門事項審議進行ノ現状ヲ示ス覺書及同三月三日附修正覺書(英文)…………… | 三三一 |
| (12) | 昭和五年三月三十一日事務總長ヨリ送付越シタル議題表(英文)…………… | 三五〇 |
| (13) | 昭和五年四月十一日五國首席全權會議議題(英文)…………… | 三五五 |
| (14) | 昭和五年四月十四日第五回總會議題(英文)…………… | 三五七 |
| (15) | 昭和五年四月二十二日第六回總會(最終總會)議題(英文)…………… | 三六〇 |
| | 制限方式ニ關スル文書…………… | 三六三 |
| (1) | 昭和五年一月三日附佛國專門家覺書(佛文及邦譯文)…………… | 三六三 |
| (2) | 昭和五年一月九日佐藤公使ニ手交セル佛國妥協案(佛文及邦譯文)…………… | 三六七 |

第五部

| | | |
|-----|-------------------------------------|-----|
| (1) | 昭和五年一月三日附佛國專門家覺書(佛文及邦譯文)…………… | 三六三 |
| (2) | 昭和五年一月九日佐藤公使ニ手交セル佛國妥協案(佛文及邦譯文)…………… | 三六七 |

第六部

- (3) 昭和五年一月二十二日「クレイギー」「マシグリ」會議要録(英文)……………三七二
- (4) 昭和五年二月四日第一委員會ニ提出セル英國案(英文及邦譯文)……………三七七
- (5) 倫敦條約第二編トシテ規定セラルヘカリシ昭和五年四月十一日佛國側提出ノ條約案(佛文)……………三八二
- (6) 倫敦會議議長ヨリ聯盟事務總長ニ宛テタル昭和五年四月二十一日附書翰(英文)……………三八七
- 潛水艦、補助航空母艦及會議關係政府刊行書類ノ範圍ニ關スル文書……………三九四
- (1) 昭和五年二月八日「マシグリ」カ佐藤公使ニ手交セル潛水艦使用制限案(佛文)……………三九四
- (2) 昭和五年二月二十日附法律家非公式會合開催ニ關スル「マルキン」書翰及我方返翰(英文)……………三九五
- (3) 昭和五年四月二日附潛水艦使用制限ニ關スル「マルキン」案(英文)……………三九七
- (4) 昭和五年四月三日法律家委員會採擇潛水艦使用制限ニ關スル宣言案(英文)……………三九九
- (5) 倫敦條約第二十二條(潛水艦使用制限)ノ解釋ニ關スル昭和五年四月二十二日附事務總長書翰及我方返翰(英文)……………四〇〇
- (6) 補助航空母艦ヲ何レノ類別ニ屬セシムヘキヤノ問題ニ關スル昭和五年四月二日米國提案(英文)……………四〇三
- (7) 補助航空母艦ヲ如何ナル類別ニ屬セシムヘキヤノ問題ニ關スル昭和五年四月九日米國案(英文)……………四〇四
- (8) 倫敦海軍會議關係政府刊行書類ノ範圍ニ關スル昭和五年四月二十二日附事務總長書翰(英文)……………四〇五
- (9) 倫敦海軍會議關係政府刊行書類ノ範圍ニ關スル昭和五年五月十日附在京英國大使來翰及帝國政府返翰……………四〇七

附 錄

海軍勢力表ニ關スル文書……………四一

千九百三十年「ロンドン」海軍會議關係文書集

第一部 倫敦海軍會議ニ關スル帝國側公表及聲明

(一) 外務省公表並政府當局聲明

(1) 昭和四年八月五日地方長官會議ニ於ケル幣原外務大臣演說

(東京朝日新聞ニ據ル)

地方長官會議ニ於ケル幣原外相ノ演說ハ左ノ通りテアル

軍縮問題ハ今ヤ世界ノ注目スルトコロトナツタカ最近英米兩國政府間ニオケル商議ニヨツテ補助艦制限ノ問題ハ再ヒ解決ノ初光ヲ現ハスニ至ツタ、「ジュネーヴ」ニオケル最難關ハ補助艦問題テアツタカ今回ハコノ難關ヲ突破スル目的ヲモツテイハユル戰鬪力測定ノ尺度ヲ設ケルコトカ案出サレコノ尺度ニヨツテ主要海軍國ノ巡洋艦ヲ制限セントスル意見カ行ハレテキルノテコノ點ニオイト來ルヘキ軍縮會議ハ意外ノ成功ヲ收メ得ルカモ知レナイ、要スルニ軍縮ノ實現ニヨツテ各國トモ對内的ニハ國民ノ負擔ヲ輕減シ對外的ニハ世界平和ノ保障ヲ確實ナラシメルモノテアルカラ政府トシテハ熱心ニコレニ對シ協力ヲ惜シマサルモノテアル